

「憲法守れ」を圧倒的多数派に

日本国憲法施行79周年の3日、憲法を守り生かそうという行動が全国各地で取り込まれました。東京都江東区の東京臨海広域防災公園では「つながろう 憲法いかして平和な世界を！」

2026憲法大集会（同実行委員会主催）が開かれました。この間の国会前行動などに参加した市民も加わり、5万人（主催者発表）が「憲法改悪絶対反対」「憲法守れ」と声をあげました。

2026東京大集会に5万人



(写真)「憲法守れ」とアピールする2026憲法大集会の参加者=3日、東京都江東区



(写真) 連帯あいさつする田村智子委員長=3日、東京都江東区

田村委員長
があいさつ

改憲・軍拡反対の
世論広げる先頭に



日本共産党の田村智子委員長は「5・3集会は憲法9条守れの国民の圧倒的多数派をつくるキックオフ集会だと決意して参加している」と強調。高市早苗首相が“この1年で改憲発議のめどをつける”と

発言した焦点が9条にあることは明らかだと指摘。日本国憲法こそ世界に平和をもたらす確かな力だと強調し、「改憲・軍拡反対の圧倒的世論を国民の中に広げる先頭に立って奮闘する」と表明しました。

「国民の声で国会を包囲」

塩川・梅村氏宣伝



宣伝する（左から）塩川、梅村、山崎の各氏ら=3日、埼玉県川口市

日本共産党の塩川鉄也国対委員長・衆院議員と梅村さえこ元衆院議員は憲法記念日の3日、埼玉県川口、さいたま両市で宣伝しました。山崎すなお県議、金子川口市議、松村さいたま市議も訴えました。

塩川氏は、国会では改憲派が多数を占めているもの

の、国民の願いとはかけ離れているとして「『戦争・改憲反対』の声を大きく広げ、国会を包囲しよう」と強調。梅村氏は、米国・イスラエルのイラン攻撃が多くの子どもの命を奪っていると批判し「憲法9条の力で日本と世界の平和をつくらう」と呼びかけました。

高市政権 武器輸出の全面解禁 「平和国家」の歩み、覆す 参院外防委 山添拓議員批判



日本共産党の山添拓議員は4月21日の参院外交防衛委員会で、武器輸出の全面解禁に踏み切る閣議決定について「戦後日本の『平和国家』としての歩みを根本から覆すものであり、断じて認められない」と批判し、撤回を求めました。

山添氏は武器の完成品輸出を「救難、輸送、警戒、監視、掃海」の「5類型」としてきた現行ルールを撤廃することで、戦闘機や艦艇に加え、政府が憲法上保有できないとしてきた長射程ミサイルまで輸出可能になると危険性を指摘。「国際紛争を助長する武器輸出は行わない」としてきた政府見解との整合

性についてどのように議論したのかをただし、「殺傷兵器を輸出しても国際紛争を助長しないと言える根拠を示せるのか」と追及しました。小泉進次郎防衛相は「日本の『平和国家』としての精神は変わらない」などと述べるにとどまり、根拠は示しませんでした。(しんぶん赤旗4月22日付けより)



(写真) 質問する山添拓議員
= 4月21日、参院外防委



(写真) 質問する吉良よし子議員
= 11日参院決算委

核廃絶の約束 参院決算委 実行迫れ 吉良氏、 政府に要求



日本共産党の吉良よし子議員は11日の参院決算委員会で、国連本部で開催中の核不拡散条約(NPT)再検討会議(~22日)を巡り、核軍拡を進める核保有国は全加盟国に核軍縮・核軍備撤廃の

ための誠実な交渉を義務づける同条約第6条に違反・逆行していると指摘し、同会議で同条の完全履行を求める成果文書を採択させる努力を日本政府に要求しました。(しんぶん赤旗5月11日付け)



(写真) 質問する岩淵友議員
= 4月23日 参院農水委

現場の深刻な実態と乖離 農林中金法改定案で 岩淵氏



農林中央金庫法改定案が4月24日の参院本会議で決決、成立、日本共産党は反対しました。岩淵友議員は23日の参院農林水産委員会で、改定案は大規模な農外事業者などのニーズに応えるためのもので、現場の深刻

な実態と乖離(かいり)していると批判しました。岩淵氏は「農林中金は、組合員の協同を基礎とし、組合内での調達、運用が中心であり、単協で発生した資金の過不足を調整する補完的役割を果たすもの」だが「現場

では採算が取れない、借りたくても借りられないのが実態だ。」日本の農業再生にこそ農林中金の資金が注げるような農政に転換すべきだと強調しました。(しんぶん「赤旗」5月1日付けより)